

予算審査特別委員会

委員長 三瓶 輝枝 副委員長 黒宮 昇

平成24年度一般会計および特別会計などの予算案18件を審査するため、2月29日に全議員で構成する予算審査特別委員会(2分科会)を設置し、計5日間にわたり審査しました。

また3月16日に議長から市長に対して、指摘要望事項を提出し、市政運営に反映させるとともに、反映状況の報告を求めました。

分科会での主な質疑をご紹介します。

第1分科会

当初見込まれた収支不足への対応は

問 予算編成において毎年度、大きな収支不足が発生しているが、その解消のための取り組み内容は。最近3か年の当初予算における収支不足はどのような状況なのか。

答 歳入では市税などの徴収率の向上、公共料金の改定、市有地の売り払いなど、歳出では人件費や補助金の削減、事務事業の見直し、民間機能の活用などにより収支不足の解消を図った。収支不足額は平成22年度が約267億円、23年度が約135億円、24年度が約112億円と年々減ってきているが、歳出の削減効果も年々厳しい状況である。

地域防災計画の見直しの進捗状況は

問 東日本大震災から1年が経過するが、地域防災計画の見直しの進捗状況は。

答 昨年9月に職員の初動体制や行動マニュアルを見直したほか、津波対策、帰宅困難者対策、災害時要援護者対策、避難所の運営委員会などについて検討を進めており、平成24年度の地域防災計画全体見直しに反映させていく。なお、前提となる被害想定について、今後国の見直しに伴い再見直しが必要になると考えている。

ベンチャー企業の育成を

問 新事業を創出し、新たな市場を開拓することが大切になってくるが、ベンチャー

企業の開拓と育成をどのように行っているのか。

答 ベンチャーカップCHIBAで、有望なベンチャー企業を発掘するとともに、受賞者に販路拡大支援のほか学生部門ではインキュベート施設入居に際し支援措置を設けている。また制度融資ではインキュベート施設入居者の利子補給率を2.0%に優遇するなど起業家支援を行っている。



ベンチャーカップCHIBAでの表彰(平成23年度)

第2分科会

若い世代が文化芸術に親しめる環境を

問 文化振興の予算が年々削減されている中で、子どもたちや若い人が文化に意欲を持って取り組むことができる環境づくりが必要だと思われるが見解は。

答 文化芸術は長期的、継続的に施策を展開していくことが必要であり、子どもたちに文化芸術を芽生えさせることややすそ野を広げる環境づくりとして、ストリートダンス、和太鼓、ボイスパーカッションなどのワークショップや発表会を実施し、文化芸術に触れる機会を醸成していく。



ストリートダンスの発表会(平成23年度)

自転車の利用促進と事故減少の両立

問 自転車走行環境整備計画を策定する目的は。

答 自転車の利用促進を図るとともに、自転車利用者が安心して走行できる環境を整備することにより、自転車と歩行者を分離し、事故の減少に寄与することを目的とする。

高齢者虐待の防止に向けた体制強化を

問 高齢化が進み高齢者虐待も増加してきている。施設や区役所などに専門職員を配置するなど体制を強化していくべきでは。

答 高齢者虐待の具体的な内容については、なかなか市民に知られていないため、周知していくことで虐待を防止するとともに、あんしんケアセンターによる再発防止のための自宅訪問を行っている。また体制強化については、福祉の専門職を採用、配置するよう人事当局に要望していく。

1 **財政運営** については、厳しい状況が続く中で歳出削減にも限りがあることから、公有財産の売り払いや寄附金の受け入れなどに創意工夫を凝らすほか、市税においては、償却資産等の課税客体を適正に把握し、課税に努めるなど、各種財源の確保を図りたい。

2 **防災対策** については、災害時に市民の安全・安心を迅速に確保するため、地域防災計画の見直しを行うなど、漏漏のない体制づくりに努めるとともに、自主防災組織における組織率の向上や地域住民・各団体との連携を強化するなど、災害時に効果的に活動できる体制を構築されたい。

3 **文化施策** については、市民が良質な文化芸術に触れる機会をふやし、集客につながるような効果的な事業の展開により各種文化施設の稼働率向上に努めるとともに、若い世代の文化芸術活動に対する支援の充実を図りたい。

市長に提出した指摘要望事項

4 **高齢者福祉** については、ひとり暮らし高齢者や高齢者虐待の増加、介護人材の不足等、今後予想される諸課題に的確に対応するため、あんしんケアセンターのさらなる増設や市との連携強化を含めた体制整備を進めるとともに、引き続き地域見守り活動への支援や介護人材の確保等に積極的に取り組まされたい。

5 **市内経済の振興** については、市民ニーズを的確に把握した上で、商店街、ベンチャー企業への支援や情報提供を通じた新事業の創出などにより、経済の活性化や雇用の拡大に資するよう努められたい。また、千葉中央港地区や幕張新都心の魅力向上については、周辺施設の有効活用を図るとともに、女性の視点に立った集客効果の高い施策などの展開を図られたい。

6 **自転車施策** については、多発する自転車事故の削減に向け、歩行者、自転車、自動車それぞれの視点に立った自転車レーンを設置するなど、安全な走行環境の整備を推進するとともに、他部局や県警とも連携した対策を講じられたい。また、安全・安心なまちづくりの観点からも、引き続き放置自転車対策や歩道整備にも積極的に取り組まされたい。

意見表明

3月15日の予算審査特別委員会では、2分科会の審査概要について報告が行われた後、7人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計予算を原案どおり可決しました。各会派の意見表明の概要は次のとおりです。(通告順に掲載)

公明党千葉市議会議員団

市民の意見や要望を集約したわが会派の要望が盛り込まれている予算に賛成

新年度予算は厳しい財政状況の中、市債の発行を抑制するなど財政健全化への取り組みを進める一方で、防災・減災対策の強化、地域経済活性化や少子高齢化への対応など、市民生活に密着した施策への取り組みがなされております。また子ども・若者総合相談センターの設置、あんしんケアセンターの整備、企業立地促進の強化を初め、市民の意見や要望を集約したわが会派の要望も随所に盛り込まれ、評価すべきものと判断しました。

財政面でも、ここ数年で市債残高や債務負担行為の額が減少し、健全化判断比率が改善されていることや基金の繰り入れに依存せずに予算が編成されていることを評価するものであります。

引き続き厳しい財政状況にあることに変わりはないが、市民に喜ばれる成果を出すため、一つ一つの事業に誠心誠意、全力で取り組まれるよう要望します。

市民ネットワーク

財政健全化・行財政改革の取り組みに賛成 予算編成過程の公開度の高さを評価

財政健全化・行財政改革に向けた取り組みを推進し、真に必要な分野について特別枠を設け重点配分をしたこと、防災・減災事業の切れ目ない実施を基本方針としたこと、市債管理基金へ毎年20億円の返済を計画していることを評価します。また予算編成過程の公開度がさらに高くなり、各局からの予算要求の概要がホームページ上で公開されたことは歓迎するものです。

一方、高齢化による扶助費の増加は、やむを得ない状況ではありますが、市税や国民健康保険料などの徴収率向上のほか、取り組みの余地がありそうです。債権管理条例の実施にあたっては、弱い立場の市民に寄り添った債権管理を要望します。

また原子力事故対応については、市民の健康を確保していくには後追いの対策では遅すぎます。常に市民の声に耳を傾け、軌道修正するなど柔軟で的確な対応を求めます。

みんなの党千葉市議団

特別枠を設け重点配分した予算に賛成 より一層の行財政改革の推進を

予算編成の基本的な考え方については、これまでの財政健全化および行政改革の取り組みを引き続き推進していくという点では、規模とスピードにおいて不満はあるものの、方向性に異論はありません。

一方、絆の再生、地域経済の活性化、地域活動の推進、災害に強いまちづくりなど、市民の安全で安心な暮らしを実現するため

民主党千葉市議会議員団

財政健全化という課題に積極的に取り組む予算に賛成

今回の予算は市債残高の削減や歳入の確保、赤字体質の国民健康保険事業の健全化に向けた取り組みなど、財政健全化という課題に取り組むとともに、防災対策、保育施策や高齢者施策の充実、学校施設の整備など、市民が切実に求めている施策も積極的に取り組まれています。

また絆の再生・地域経済の活性化・地域活動の推進、さらには東日本大震災の発生を教訓とした災害に強いまちづくりなど、今後の市政にとって必要な分野へ効果的に予算を配分するものとなっております。評価できる内容であります。

今後も大変厳しい財政状況が続くことから、効率的な予算執行に努め、資産経営の観点から、歳入面についても必要な財源の確保を図り、財政健全化と行政改革を着実に進めるとともに、市民福祉の一層の向上に取り組まれますよう要望します。

未来創造ちば

将来の財政負担の軽減にも配慮し 防災・福祉施策など充実にも努めた予算に賛成

新年度予算では、市税収入が減収になるなど引き続き厳しい財政状況にありながらも、徹底した事務事業の見直しなどにより、当初見込まれた110億円を超える収支不足に対応しました。また今回10年ぶりに基金からの借入金に依存しない予算編成を行ったほか、市債残高を大幅に減額し、将来の財政負担の軽減に努めるなど、財政健全化への取り組みが感じられます。

施策面では、わが会派が要望してきた市民協働施策、子育て支援策などの市民福祉の充実、教育施策などの分野で事業の拡充に努めるとともに、防災対策の充実や将来を見据えた税源涵養策などの施策が概ね反映されています。

今後も財政健全化に向け、効率的な行財政運営を行うとともに市民が将来に夢と希望を持ち安全で安心して暮らせる魅力あるまちづくりの実現を目指し、市政運営にあたるようお願いします。

に真に必要な分野について、予算要求の特別枠を設け重点的に予算を配分している点は評価します。

今回は10年ぶりに実質的に基金に依存しなかったとはいえ、依然として公債費が高止まりで推移するなど、今後の財政運営も引き続き予断を許さない厳しい状況が見込まれることから、より一層の聖域なき徹底した行財政改革を断行するとともに、市民福祉の向上に全力で取り組んでいかれるよう要望します。

日本共産党千葉市議会議員団

財政健全化優先、市民サービスカットの予算に反対

2012年度予算は、「財政健全化最優先」「市民サービスカット」「大型開発続行」の予算編成となっています。

自殺対策や住宅用太陽光発電設備設置への助成拡充など、市民の願いに応えた事業がある一方で、市民サービス・福祉事業削減に加え、国民健康保険料や介護保険料などの公共料金値上げは負担増となります。

また、震災対策や放射能対策など、災害に強いまちづくりへの取り組みが不十分であります。市長は「原発をなくす」と発信すべきであり、放射能への不安を取り除く対策の抜本的強化が必要です。

さらに、市民生活や地域経済、医療分野へ大きな影響を与える消費税増税やTPP参加への対応が的確でないことです。増税にきっぱりと反対の立場を取るべきであり、TPP参加についても、反対の立場を明確にすべきです。

自由民主党千葉市議会議員団

市民要望に応える予算に賛成 財政健全化に向けた着実な取り組みを

防災・減災対策をはじめ、待機児童解消に向けた保育所の整備や幼稚園での預かり保育の拡充、介護需要に的確に対応するための特別養護老人ホームの整備など、市民要望に応える施策が概ね盛り込まれています。

財政の健全化については、市税や国民健康保険料などの徴収対策の強化、債権管理の適正化などの新たな取り組みなど、予算に的確に反映されています。また市債の発行を引き続き抑制し、将来負担となる市債残高の削減にも着実に取り組んでいます。しかし公債費償還のピークが平成29年度頃まで続くなど、25年度以降も多額の収支不足が見込まれ、依然として財政の危機的状況が続くことに変わりはありません。市民にこうした現状をしっかりと説明し、理解を得ながら財政健全化に向けた取り組みを着実に推進し、市民のより豊かな暮らしの実現に向けて努力するよう要望します。